

図書だより



令和4年 6月 21日

担当 山本 尚美

No.3

読み聞かせ隊の方にお世話になっています！！

三朝小学校に、月に1回、読み聞かせ隊のみなさんが来てくださっています。1学期はあと2回、6月24日と7月22日を予定しています。子どもたちは、ボランティアさんの優しい読み口に、あっという間にお話の世界に引き込まれ、集中して聞きます。よく知っている本でも、誰かに読み聞かせてもらうのは、子どもたちにとって格別な時間だと思います。



また、今年度からお昼の放送で、「ふるさとのむかしばなし」の朗読を行っています。語ってくださるのは、読み聞かせ隊の谷本さんです。コロナ禍で黙食をしている子どもたちが、少しでも楽しい給食時間を過ごすことができるように、色々な方々にお世話になっています。

読み聞かせでコミュニケーションを！

学校では、なかよし班や、高学年、図書委員会、読み聞かせ隊による読み聞かせが毎月のようにあります。子どもたちは、繰り返し本を読んでくれたり、一緒に物語を楽しんだりする大人が近くにいることによって、お話の楽しさや周りの人たちの愛情を感じていきます。ご家庭でも、テレビやゲームをやめた時間を利用して読み聞かせをし、親子でふれあう時間を作ってみられてはいかがでしょうか。親にとっても、子どものすてきな表情を通して、子育ての楽しさを感じることができます。

読み聞かせの はぐくむもの

「こころ」と「ことば」 を育てます

子どもは、家族の温かなぬくもりを感じて満足し、言葉で気持ちを通わす喜びを感じます。

家族への信頼が 深まります

絵本や本を通してふれあう時間は、親子にとって楽しいひとときになり、親への愛情や信頼が深まります。

学ぶ力の基礎を 作ります

本がつくる言葉の世界にふれることは、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、想像力を豊かにします。読書が好きな児童は、文章読解力の平均正答率が、概ね高い傾向が見られます。